



アンケート名：国土交通分野における国民の環境意識について

問1 エコドライブについてお伺いします。(問1~15)

あなたはエコドライブを実践されていますか。次の中から一つお選びください。

1. 実践している
2. ある程度実践している
3. あまり実践していない(問12へお進み下さい)
4. 全く実践していない(問12へお進み下さい)
5. 車を運転していない(問15へお進み下さい)
6. 「エコドライブ」がわからない(問15へお進み下さい)

問2 あなたがエコドライブとして実践されている項目をお選びください。(複数選択可)

(なお、この10項目は、国土交通省等関係省庁で構成するエコドライブ普及連絡会で策定した「エコドライブ10のすすめ」というものです。)

1. 無用なアイドリングをしない(アイドリングストップ)
2. 無用な空ぶかしをしない
3. 急発進及び急加速をしない
4. 交通状況に応じた安全な定速走行に努める
5. 早めにシフトアップする
6. 減速時には、エンジンプレーキを活用する
7. 確実な点検・整備を実施する
8. 不要な荷物を積まない。また、燃料をむやみに満タンにしない
9. エアコンの使用を控えめにする
10. 計画的なドライブをする

問3 発進の時のエコドライブに関し、昨年「ふんわりアクセル『eスタート』」という名称

が使われ始めましたが、この言葉をご存じでしょうか。また、どこでお知りになりましたか。次の中から一つお選びください。

1. インターネットで知った
2. 雑誌で知った
3. 友人から聞いた
4. 知らない
5. その他

問4 エコドライブを実践するに当たり、普段使用している器具・装置等がありましたら、お選びください。(複数選択可)

1. アイドリングストップ自動車
2. アイドリングストップ自動車(後付け)
3. 瞬間燃費計

4. デジタルタコグラフ
5. エコドライブ管理システム（EMS）
6. その他

問5 エコドライブに関する情報をどのように入手されていますか。（複数選択可）

1. インターネット
2. パンフレット、小冊子
3. 購入した本・雑誌
4. 友人
5. 無料で参加できる講習会
6. 参加費を払って参加した講習会
7. その他

問6 エコドライブを実践している結果、どのような効果がありますか。（複数選択可）

1. 燃費向上
2. 環境に良いことをしているという満足感
3. 友人・知人からの尊敬
4. 第三者からの表彰
5. 特にない
6. その他

問7 エコドライブを実践していて難しいと感じることをお教えてください。（複数選択可）

1. 面倒くさい
2. 効果がわかりにくい
3. 自動車で走る楽しみが味わえない
4. 特にない
5. その他

問8 より良くエコドライブを実践するために、どのような情報があれば便利ですか。（複数選択可）

1. エコドライブの方法
2. 他人のエコドライブ体験談
3. 講習会の情報
4. エコドライブに資する器具・装置の紹介
5. エコドライブの効果
6. その他

問9 エコドライブをすると燃費が向上しますが、エコドライブによる燃費向上をどの程度期待されますか。次の中から一つお選びください。

1. 5%程度
2. 10%程度
3. 15%程度
4. 20%以上

5. 特に期待しない

問 10 エコドライブをしていることにより評価を受ける場合、どのような評価を最も望まれますか。次の中から一つお選びください。

1. 例えば「エコドライブ優良者」というように、表彰される
2. 例えば「エコドライブライセンス」というように、認定される
3. 例えば「エコドライブコンテスト」というような機会で、評価される
4. 何かの割引を受けられる
5. その他

問 11 エコドライブをする際に、あると便利だと感じる器具・装置はなんですか。次の中から一つお選びください。

1. アイドリングストップ自動車
2. アイドリングストップ自動車（後付け）
3. 瞬間燃費計
4. デジタルタコグラフ
5. エコドライブ管理システム（EMS）
6. その他

問 12 （問1において「3」又は「4」を回答された方にお尋ねします。）
エコドライブを実践しない理由をお教えてください。（複数回答可）

1. エコドライブを実践しても効果がわかりにくい
2. エコドライブを実践している人が周りにいない
3. エコドライブの実践に際し運転技術が難しい
4. エコドライブに関する知識が不足している
5. エコドライブを実践するのは面倒くさい
6. その他

問 13 （問1において「3」又は「4」を回答された方にお尋ねします。）
エコドライブをしなければならない場合、どのような情報入手を望まれますか。次の中から一つお選びください。

1. インターネット
2. 無料のパンフレット、小冊子
3. 有料の本・雑誌
4. 無料で参加できる講習会
5. 参加費を支払って参加する講習会
6. その他

問 14 （問1において「3」又は「4」を回答された方にお尋ねします。）
どのようなメリットがあれば、エコドライブを実践しても良いと思いますか。（複数選択可）

1. 燃費改善に生かせる
2. 評価される

3. 何らかの割引を受けることができる
4. メリットがあっても実践しない
5. その他

問 15 エコドライブについて思われること(例えば行政に期待することなど)を、お聞かせください。(自由回答)

問 16 ヒートアイランド現象についてお伺いします。(問 16~25)

ヒートアイランド現象という言葉の意味をこれまで知っていましたか。次の中から一つお選びください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 言葉は聞いたことがある
4. 知らない

問 17 ヒートアイランド現象とは、都市の中心部の気温が郊外に比べて島状に高くなることです。ヒートアイランド現象が都市部で進んでいると思いますか。次の中から一つお選びください。

1. 強く思う
2. まあ思う
3. あまり思わない(問 21 へお進みください)
4. 思わない(問 21 へお進みください)
5. わからない(問 22 へお進みください)

問 18 なぜ、そう思いますか。次の中から一つお選びください。

1. 都市に居住・勤務しており、そのように実感するため
2. 都市に居住・勤務していないが、居住・勤務している人がそのように言っているので
3. テレビや新聞等でそのように報道されているから
4. これまでに見た調査データ等から客観的に判断できるから

問 19 ヒートアイランド現象により、最も深刻な問題であると感じるものはどれですか。次の中から一つお選びください。

1. 気温の上昇による生活上の不快感
2. 冷房などの消費電力の上昇による電気料金の高騰
3. 動植物など生態系への影響
4. 特に深刻な問題は生じない
5. その他

問 20 ヒートアイランド現象の原因として、最も影響のあると思われるものはどれですか。次の中から一つお選びください。

1. 緑地が減少し、コンクリートの等の舗装面が増加したこと
2. ビルや工場から大量の排熱が放出されていること
3. 風の通り道となるオープンスペースが不足していること

4. 地球温暖化による世界的な気温の上昇
5. わからない
6. その他

問 21 (問 17 で「3」又は「4」を回答された方にお尋ねします。)

なぜ、そう思いますか。次の中から一つお選びください。

1. 都市に居住・勤務しているが、そのように実感しないため
2. 都市に居住・勤務していないが、居住・勤務している人がそのように実感していないと言っている
3. テレビや新聞等の報道では信用できないから
4. これまでに見た調査データだけでは、その根拠が不十分と感じるから

問 22 都市における社会・経済活動に密接に関連するヒートアイランド現象を緩和するために、私たち一人一人がライフスタイルを改善することが考えられます。ライフスタイルを改善する取り組みについてどう思いますか。次の中から一つお選びください。

1. 手間や経済的負担等が多少かかっても、積極的に取り組みたい
2. あまり手間や経済的負担がかからない程度で取り組みたい
3. 負担や手間がかかるなら取り組みはしない
4. 現在のライフスタイルを変えようとは思わない

問 23 ライフスタイルの改善について、具体的に私たちにも実践できることがいくつか考えられます。あなたがやってみようと思うことは次のうちどれですか。(都市に居住・勤務していない方は、都市に居住・勤務していたとしたらどうするかをお答えください。)(複数回答可)

1. 打ち水をする
2. 冷房の設定温度を上げる
3. 熱源となる渋滞を緩和するために、公共交通機関を利用する
4. 消費電力の少ない電化製品を購入するよう心がける
5. 特に何もしようとは思わない
6. その他

問 24 ヒートアイランド現象は、人工排熱、都市構造、地形、気象条件など様々な問題が複雑に絡み合っています。ヒートアイランド現象を緩和するための具体的な対策を行うと同時にヒートアイランド現象のメカニズムの解明のために、様々な調査研究も行われていますが、あなたはどう思いますか。次の中から一つお選びください。

1. 具体的な対策を行うよりも、まず調査研究を進めていくべき
2. 調査研究よりも具体的な対策を行うべき
3. 具体的な対策と同時に更なる調査研究も行うべき
4. 対策、調査研究ともに規模を縮小するべき
5. わからない

問 25 国土交通省では、ヒートアイランド対策に関する評価手法の開発を進めております。評価手法の開発に当たって最も強く望まれると考えられることはどれですか。次の中から一

つお選びください。

1. 評価手法はそれぞれの対策がどこまで進んでいるのか確認・比較が行いやすいように、統一で定量的な単位・尺度によるべきである
2. ヒートアイランドのメカニズムは複雑なので統一的な評価を行うのではなく、それぞれの対策ごとに個々に評価を行うべきである
3. ヒートアイランドのメカニズムを解明することが先決であり、現段階での評価手法の開発は時期尚早である。
4. ヒートアイランド現象は、気候変動や地形等により地域差があるため、評価にはなじまない。
5. その他

問 26 建設リサイクルについてお伺いします。(問 26~28)

建設工事から発生する廃棄物のリサイクルを推進するために、建設リサイクル法が平成12年5月に制定されましたが、この法律についてご存じですか。次の中から一つお選びください。

1. 建築物等の分別解体や再資源化などを義務づけた法律であることを知っている
2. 法律の名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. まったく知らない

問 27 みなさんがご自宅を新築したり解体したりする際に、ある一定規模以上の場合には、建設リサイクル法により、都道府県に対して、解体工事等の方法を記した書類(法第10条届出)を提出しなければならないことをご存じですか。

1. 知っている
2. 知らない

問 28 リサイクルを推進するためには、リサイクルされた廃棄物を原料として製造した再生資材の使用を推進することも必要となります。しかし、一般的には、再生資材は、天然資源を原料とした資材よりも、割高である場合が多くなっています。このような状況の中で、公共工事において再生資材を積極的に使用していくことについて、どのようにお考えですか。次の中から一つお選びください。

1. リサイクルを積極的に推進するため、コストにかかわらず再生資材を使用すべきだ
2. リサイクルを推進するため、多少高い程度ならば再生資材を使用すべきだ
3. とにかく安価な資材を使用すべきだ

問 29 建設機械の環境対策についてお伺いします。(問 29~33)

国土交通省では 排気ガス、騒音又は振動の基準を満たした建設機械にステッカーを表示しています。排気ガス対策型のステッカーをご存じですか。(参考資料「建設機械の環境対策に関する参考資料2(建設機械に関するステッカー)」参照)次の中から一つお選びください。

1. よく知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

問 30 騒音対策型のステッカーをご存じですか。（参考資料「建設機械の環境対策に関する参考資料2（建設機械に関するステッカー）」参照）次の中から一つお選びください。

1. よく知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

問 31 振動対策型のステッカーをご存じですか。（参考資料「建設機械の環境対策に関する参考資料2（建設機械に関するステッカー）」参照）次の中から一つお選びください。

1. よく知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

問 32 建設機械の排気ガス、騒音又は振動が気になりますか。次の中から一つお選びください。

1. 気にならない（問 34 へお進みください）
2. 以前ほどは気にならない（問 34 へお進みください）
3. 気になる
4. 以前よりも気になる

問 33 気になる項目はなんですか。（複数回答可）

1. 排気ガス
2. 騒音
3. 振動

問 34 その他、環境政策全般についてのご意見・ご感想をお書きください。（自由回答）